

建築文化の振興に向けた取組み



国土交通省

平成19年4月12日

都市再生・地域再生等に寄与する建築文化

全国各地で質の高い建築や街並みを核とした都市再生・地域再生・観光振興等に取り組んでいる事例が多くみられるところ。

桜川市(旧真壁町) 江戸以来の商家の街並みの保存

- ・江戸時代から栄えた商家の街並みが残り、約200棟を数える見世蔵・土蔵・門などが残存。
- ・都市計画道路の見直し、通過交通排除のためのルール、税制等の支援策の検討を県・町・まちづくり団体で実施。
- ・左官技術の伝承等のソフト政策をあわせて展開。



渋谷区 再開発による商業空間の創出

- ・築70年を超える集合住宅を再開発し、表参道の景観に配慮した新たな商業空間が創出。



横浜市

伝統的建築物の保存・活用

- ・旧第一銀行の建物の補修等を行い、再開発ビルと一体化させたうえで、多目的ホールとして活用。



北九州市

伝統的建築物の保存・活用

- ・重要文化財である旧門司三井倶楽部について、外装・耐震構造の修復等を行い、門司港レトロ地区の観光振興の中心として活用。



旭川市

伝統的建築物の保存・活用

- ・明治32年に建設された旧国鉄の煉瓦造建物（鍛冶・旋盤工場）。改修を行い、市民の活動拠点として活用。



地域の創意工夫を支援する交付金制度

まちづくり交付金

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを地方公共団体の自主性と創意工夫を活かしながら総合的かつ計画的に推進するための制度。

地域住宅交付金

公営住宅の建設や面的な居住環境整備など地域における住宅政策を地方公共団体の自主性と創意工夫を活かしながら総合的かつ計画的に推進するための支援制度。

地域住宅交付金を活用した取組み事例

山梨県 景観上及び機能性等に優れた建築物等を表彰する建築文化賞顕彰事業を実施。

平成18年度建築文化賞



「公共建築物等の部門」
「良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門」
甲斐市玉幡公園総合屋内プール

建築文化奨励賞



「住宅建築の部門」
富士河口湖の家



「一般建築物等の部門」
山梨学院サザンタワー



「公共建築物等の部門」
山梨県立中央病院



「公共建築物等の部門」
山梨県総合交通センター

景観法の制定など法規制の分野における取り組み

景観法の制定

都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るため、基本理念及び国等の責務を定めるとともに、景観計画の策定、良好な景観の形成のための規制等を行う。

基本理念 国民・事業者・行政の責務の明確化

景観行政団体による景観計画の作成(27計画)

景観計画区域

建築物の建築等に対する届出・勧告を基本とするゆるやかな規制誘導
建築物・工作物のデザイン・色彩については、条例を定めて変更命令が可能

景観協定

住民合意によるきめ細やかな景観に関するルールづくり



景観地区(13地区)

都市計画の手法を活用して、より積極的に良好な景観の形成を図る地区
建築物や工作物のデザイン・色彩、高さ、敷地面積などについての規制



景観重要建造物

景観上重要な建築物・工作物を指定して積極的に保全



景観協議会

ソフト面の支援

景観整備機構

規制緩和措置の活用

屋外広告物法との連携

景観形成事業推進費

伝統的な木造建築物の技術の再評価

伝統的な町家等の外壁に見られる「土塗壁」や、木をあらわしの仕上げにした「軒裏」について、防耐火性能を検証し、建築基準法の規制を合理化。

これにより、中心街の準防火地域等において、伝統的工法による木造建築物の建築や更新が可能となった。

伝統的な建築物の防耐火性能を建築基準法の規定に反映



木造建築物に係る伝統技術の承継向上

住生活基本法 (H18.6制定) において「木造伝統技術の継承・向上」を明記し、大工技能者の育成等を推進。
 住生活基本法: 従来の住宅建設計画法に替わる、ストック重視の時代における住宅政策の基本法制

住生活基本法における木造伝統技術の位置づけ

住生活基本法の制定 (H18.6)

背景

- ・住宅ストックの量の充足
- ・本格的な少子高齢化と人口・世帯減少 等

- ・住宅建設の「量の確保」を図る政策から国民の住生活の「質の向上」を図る政策への本格的な転換を図るものとして制定。
- ・基本理念、国等の責務、住生活基本計画の策定等について規定。

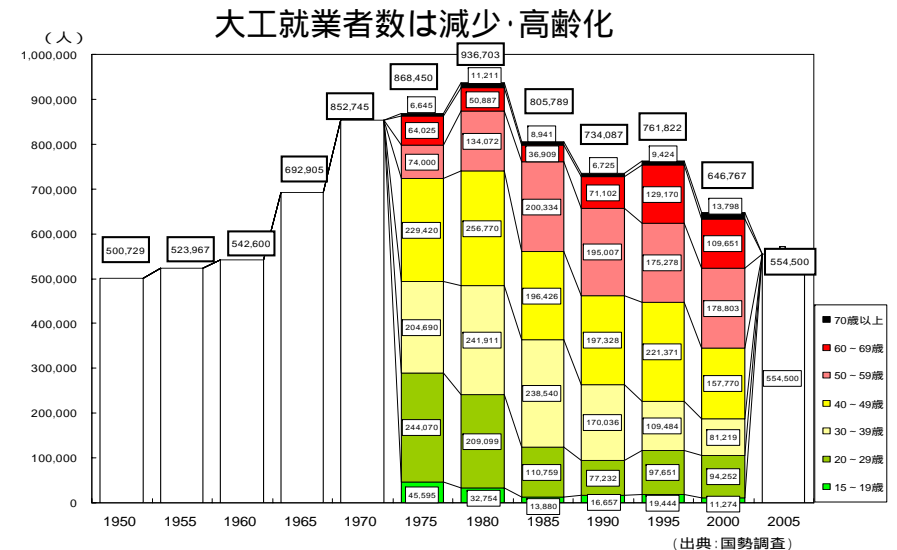
国の責務として、
『木造伝統技術の継承・向上のための情報収集・提供』を明記。

住生活基本計画 (全国計画) を閣議決定 (H18.9)

基本的な施策として、
『技能者の育成等による木造住宅に関する伝統的な技術の継承・発展の推進』を位置づけ。

大工技能者の育成

伝統的な木造軸組工法による木造住宅の生産の担い手である若手大工技能者を育成 (大工育成塾)。



日本の伝統建築文化を活かした公共建築物の整備

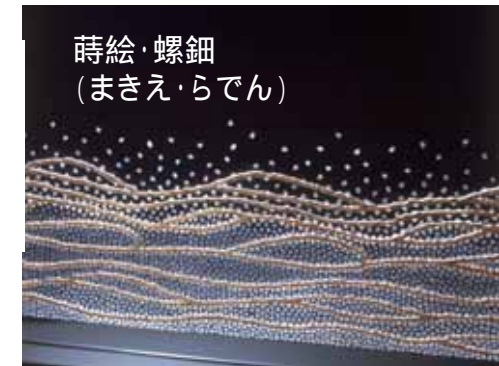
～ 京都迎賓館

伝統的技術の粋を集めた「和風の佇まい」を実現し、「もてなしの心」を表現した施設～

- ・周辺の歴史的景観及び自然環境に配慮して、建物は平屋建てとし、緩やかで高さを抑えた入母屋造りの屋根と、築地塀を四囲に巡らせ、品格ある和風の佇まい
- ・建物の内外装や庭園には日本の伝統的技術を活かし、技能の継承と新たな日本の建築文化を創造



漆塗



時絵・螺鈿
(まきえ・らでん)



截金
(きりかね)

建築文化の国内外への情報発信

～ 建築・空間デジタルアーカイブス Digital Archives for Architectural Space (DAAS) www.daas.jp ～

世界的に活躍する建築家を多く輩出し、伝統建築はもとより近現代においても日本の建築文化は世界的に高い評価を得ているところ。こうした建築文化のさらなる発展を図る上で、優れた日本の建築物の写真、図面等の文化的資料をデジタル化して保全し、ウェブを通じて国内外への情報発信、交流を実施するとともに、建築教育への活用、公共施設のデザインの質の向上、優れた景観の形成等を図る。



<プロジェクト概要>

- 平成17年度： 出版社から劣化の進行しつつある貴重な写真の提供を受け、6千点を超える写真の高解像度でのデジタル化保全を図るとともに、ウェブ上で一般公開するシステムを整備し、アーカイブの基礎を構築(平成17年度国土交通省事業)。
- 平成18年度： 建築関係団体、建築家、企業からなるコンソーシアム(代表：横文彦氏)が組織され、アーカイブを企画、運営。ウェブを公開。建築家による解説など、動画の収録等開始。
- 平成19年度： コンソーシアムにおいて、ウェブの英文化を進め、世界に発信するとともに、コンテンツの充実、ウェブ上及び実空間での各種企画を実施予定。

DAAS 特集企画 インタビュー 建築家 横文彦氏 代官社ビルサイドテラスの空間を語る



UIA2011東京大会

国際的な建築家職能集団の連合体であるUIA (International Union of Architects: 国際建築家連合) において、2011年大会(3年ごとに開催)を東京で開催。

期 間	: 2011年9月25日(日)～10月1日(土) 7日間
開催会場(予定)	: 主会場 東京国際フォーラム + 丸の内地区 副会場 国立オリンピック記念青少年総合センター、他
目標参加者数	: 約110ヶ国から1万人(うち、1,000人は招待者)
主 催	: 国際建築家連合(UIA)
共 催	: UIA2011東京大会日本組織委員会(JOB)



UIA総会(2005年大会・イスタンブール)



《大会の目的及び意義》

- ・ 建築、都市、環境に関するあらゆる問題に関して、世界中の建築家を始めとする専門家及び建築学生が参加して、開かれた議論を行う。
- ・ 世界中の建築家をはじめとする専門家や建築を学ぶ学生が、交流し、相互理解を深め、世界の建築文化向上及び世界平和に寄与する。
- ・ 開催都市の建築ツアー等を通じ、開催都市の文化、建築への理解を深めると共に、開催都市の市民や行政担当者といった関係者との相互理解を図る。



ブルーモスク(2005年大会・イスタンブール)